



ぐんぐん すくすく！相生っ子！

住所 相生市緑ヶ丘 4 丁目 5-5
電話 0791-23-5070
FAX 0791-22-7211
E-mail ikusei-aioi@bz03.plala.or.jp



子供たちが危険にさらされている!!

兵庫県警察 HP より引用

知っていますか？ 子供のスマホ事情

子供のスマートフォンにインストールされているアプリを把握していますか？

▶ 小学生や中学生が、大人向けのアプリを使用して性的な被害に遭う事件が発生しています。

ケースその1 中学生が、友達が欲しくて始めた大人向けのチャットアプリを通じて知り合った相手に、「話を聞いてあげる」などと誘われて会いに行き、性的な被害を受けた。

★アプリには対象年齢が定められています。保護者が、フィルタリング等を利用することで、不適切なアプリを子供が使用しないように管理していれば防ぐことができた可能性があります。

子供が SNS など誰とどんなやり取りをしているか把握していますか？

▶ Twitter や Instagram などの人気のアプリで多くのトラブルや被害が発生しています。また、子供に人気のオンラインゲームやゲーム実況アプリ、カラオケアプリなどでも多数の被害が発生しています。

ケースその2 中学生が、SNS で悩みの相談にのってくれた相手を信用して会いに行き、相手の家に連れ込まれて誘拐された。

★子供がSNSで誰とどんなやり取りをしているのかを把握することが大切です。

ケースその3 小学生が、オンラインゲームで知り合った相手に裸の画像を要求され、自分の裸の写真撮影して送信した。

★スマートフォンだけでなく、多くのゲーム機でもインターネット通信が可能です。

★送信した画像は販売・拡散される可能性も高く、完全に消去することは不可能です。

ケースその4 SNS に相手の容姿について書き込んだことが原因でトラブルとなり、実際に両当事者が仲間を集めて集合し、負傷者多数のけんかに発展した。

★文字だけでは真意が伝わらないことがあります。

書き込む前によく内容を確認するように子供に伝えましょう。

子供の1日のインターネットの利用時間を把握していますか？

▶ 兵庫県の調査によると、県内の小・中・高校生の10人に1人がネット依存傾向にあり、依存傾向にある子供はトラブル等に巻き込まれる恐れが高いことが分かっています。

少年問題(非行・いじめ・児童虐待等)に関する相談は、(平日 9:00~17:00)

兵庫県警察少年相談室「ヤングトーク」 0120-786-109



「ながら見守り」で子供たちを見守りましょう

「ウォーキング」をしながら
「ジョギング」をしながら
「犬の散歩」をしながら
「水やり」をしながら

普段の生活の中で

「なぜかきられない生徒指導」(前 哲央著 東洋館出版社)より抜粋

みんなが楽しく気持ちよく生活している「良いクラス」ではいじめが多くありません。生徒はよく「今のクラスは楽しい」「今のクラスはみんな仲が良い」と言います。私には、生徒たちの「自分のクラスが良いクラスであってほしい」という願いが込められているように思えてなりません。子どもたちは、必死に自分のクラスをよい状態にしたいと思っているので、「良いクラスだ」と言い聞かせて、お互いに「良いクラス」にしようねと確認し合っているように思えてきます。正しいことが正しいとされ、理不尽に怯えなくてもいい集団を、彼らは望んでいるのです。

また、生徒のことをきちんと理解している先生は、いじめを素早く発見します。一生懸命に生徒を守ろうとする先生は、いじめている子がどんな子であっても、その保護者がどんな人であっても、いじめを解決しようと全力を尽くすことができます。そして信頼できる先生は、他の子をいじめる子がいたら、その子に対してはもちろんのこと、それはいけないことだと、集団の価値観を正すことができます。

いじめをする子は、それを指摘されると、あの手この手で否定します。自分は悪くない。いじめなんかとんでもない。するはずがない。むしろこちらが被害者だ、と。そして多くの場合、保護者も一生懸命に子どもの潔白を主張します。時としてそれは「疑われた」「先生は誤解している」「一方的に傷つけられた」という具合に、学校や先生を責める方向に変わっていきます。いじめを解決するためには、いじめをしている子やその保護者に負けない強さが必要です。そして、いじめを解決していこうとする強い意志も。いじめを許さない強い信念が必要です。

ライト兄弟も、一流大学を出たわけじゃない

(株)植松電機代表取締役 植松 努

僕はずっと、「飛行機やロケットを作りたい」という自分の夢を誰かに話す勇気がありませんでした。恥ずかしかったです。

夢を話すと、相手からバカにされたり否定されたりするかもしれない。「もう自分の夢を喋りたくない」と思うかもしれません。でも、何人かに一人は、「それなら僕の友達がやってくれるよ」という人が現れるはずですよ。その人と出会えれば、夢はきっと叶います。そのチャンスを失う方がもったいないと思います。

なぜ、「どんどん話す」ことが必要なのか。それは、それをやったことがある人と出会えるからです。やったことがない人と話すのは、出来ない理由ばかりです。でもやったことがある人は、「こうしたらできたよ」と実現の仕方を教えてくれます。その違いは大きいです。

僕は皆さんに、夢を諦めない人、つまり夢を叶える人になって欲しいと思います。

どうすれば夢を叶えることができるのでしょうか。それは、いろんな人、夢をどんどん話すことだと僕は思っています。

植松さんは「ロケットを作りたい」という夢を叶え、植松さんが社長を務める「植松電機」は、日本の宇宙開発を用うJAXAが実験に訪れる会社になりました。今回は「夢を叶えるためにはどうすればいいのか？」というお話です。

大学に入ると、そこで学ぶ航空力学や流体力学の内容は、僕が中学や高校の時に自分で勉強したところばかりでした。

だから、それまでは赤点ばかりだった僕が、大学に行くと勉強しなくてもほとんどの試験で100点を取れました。

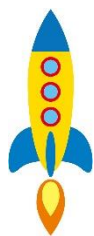
でも、そんな単語は中学や高校の試験には出ませんでした。航空工学で使われる数学も勉強しましたが、それも試験には出ませんでした。

だから僕は、高校の試験は赤点ばかりで、追試と補習ばかり受けていました。でも大学を受験してみたら、なぜか受かってしまいました。

でも、本を読むことで僕は飛行機をつくったライト兄弟と出会い、そこから人生が変わりました。まず分かったのは、ライト兄弟は一流大学を出たわけではないということでした。

僕の先生は、「飛行機を作りたければ東大を出ないと無理」と言いました。でも「東大に行かなくても飛行機はつくれる」と分かりました。

それから僕は、飛行機やロケットについてたくさん勉強するようになった。飛行機に関する外国の文献を、辞書を引きながら読み、航空用語もたくさん覚えまし



(日本講演新聞ジュニア

2025年7月号)

【うえまつ・つとむ】1966 年生まれ。89 年北見工大応用機械工学科卒業後、菱友計算株式会社航空宇宙統括部に入社。94 年 5 月同社を退社し、植松電機入社。99 年に植松電機株式会社に改組し専務取締役役に就任。2006 年 12 月、株式会社カムイスペースワークスを設立し、代表取締役に就任する。『不安な時代に踏み出すための「だったらこうしてみたら？」』（PHP 研究所）など著書多数。